

予算審査特別委員会

第九十八号議案・平成十七年度白石市一般会計補正予算(第二号)から第百五号議案・平成十七年度白石市水道事業会計補正予算(第一号)までの計八議案については、定例会第三日(九月八日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託された。

同委員会(委員長・沼倉啓介、副委員長・佐藤愿)は、九月十三日に審査した結果、全会一致で原案のとおり可決した。審査の中で論議された主な点は次のとおりである。

総務財政所管

〔質疑〕行政改革で今まで各地域にあった事務連絡所から引き揚げた職員の現在の状況と、今回補正の人件費の増減にどのように関係しているのか伺いたい。

〔答弁〕人件費については、機構改革に伴う異動による不足分の補正で、当初予算から、機構改革で現在の状況を見ると、一般会計で人員は四名減

で、金額で三千九百万円ほど減少となっている。公民館(各事務連絡所)の職員が減になった分は、例えば男女共同参画及び商工費関係で増員となっている。

〔質疑〕今中断している地下の食堂について、一方的に契約を破棄したときの違約などあるのか、どういう契約なのか伺いたい。

〔答弁〕地下の食堂については、諸般の事情で六月に閉店になり現在休業しているが、



改修工事される地下食堂

予算が認められれば、十月の広報に掲載し応募したいと考えている。仮に契約相手方が決まった場合、三年程度の期間で契約を切つて、改めて再度競争に付することを考えている。また、契約条項の中に違約とか突然やめられたりとかのないように盛り込んでいきたい。

教育民生所管

〔質疑〕アスベストに関する科学的な情報と、検査にどのくらい期間がかかるのか伺いたい。

〔答弁〕県の教育庁なりから来ている文書では、施設を解体するときにアスベストが飛散することによって、肺の方に被害が出るとの一般的な部分については承知している。検査については教育委員会、学校施設関係について調査箇所が六カ所ある。一週間程度で、アスベストが含まれているか含まれていないか検査結果はわかる。

〔質疑〕総合防災訓練の大きな訓練をするよりも、減災ということで、地域としては小さい学校単位などで、対応をする必要があるのではないかと。

〔答弁〕総合防災訓練は、それはそれで必要なのかと担当課としては考えている。防災懇談会を今後進めていく中で、各地域から意見が出るかと思うので、それを踏まえながら対応していきたい。

建設水道所管

〔質疑〕橋梁維持費について、今回の補正は、自治会長など

の要望でないとするれば、常に市の財産を管理して、あそこを直さなければならぬというところで予算計上したのか伺いたい。

〔答弁〕橋梁塗装工事については、景観と合わせて社会資本の維持、いわゆる耐久性を増すことで進めているので、自治会長からの要望ではない。このように先にまわって進めていきたいと思うが、手が回らない部分もあるので、ご理解いただきたい。

特別会計・企業会計

〔質疑〕近い将来、介護保険料が値上げになる可能性について伺いたい。

〔答弁〕介護保険は平成二十二年から始まり、今回六年目に当たる。それで、平成十八年に第三期の法改正、見直しがあり、それに向けて現在の内容、法改正も含めて値上げもするようになる。今後、平成十七年度に策定委員会を設けて、その中で検討していきたい。